

3月17日の弊社ファンドの基準価額の下落について

2020年3月17日、弊社ファンドの一部において、基準価額が5%以上下落致しました。該当ファンドおよび主な要因につきまして、以下のとおりお知らせ致します。

1. 基準価額が前日比5%以上下落した公募ファンド

ファンド名	基準価額	前日比	前日比騰落率
THEOグロース・ファンド（世界の株式中心）	8,098円	-910円	-10.89%
THEOグロース・AIファンド（世界の株式中心）	7,298円	-892円	-10.89%
THEOリアルアセット・ファンド（世界の実物資産中心）	7,782円	-835円	-9.69%
お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・ファンド(世界の実物資産中心)	7,466円	-633円	-7.82%

2. 主な基準価額の下落要因

より一層加速するアメリカ及びヨーロッパでのコロナウイルスの拡大を受け、株式市場は 今月に入り4度目の大幅な下落を記録しました。この度の下落は、週末において FED(連 邦準備制度)がリーマンショック以来の異例の金融緩和策を打ち出したことを受け、先週末 に起きた株式市場の大幅な反発は時期尚早であったとの投資家の認識を受けて引き起こされました。この結果、前回同様、エネルギー、コモディティ及び不動産を含むリスク資産が 総じて売られました。3月16日の株式市場の騰落率(終値ベース)は、S&P500 種指数で -11.98%、MSCI ワールド指数で-9.51%の下落となりました。

以上

投資信託について

- 投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護対象とはなりません。
- 投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。

- 投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としているため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動します。従って投資元本を下回ることがあります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることからリスクの内容や性質が異なります。ご投資にあたっては投資信託説明書（交付目論見書等）や契約締結前交付書面等をよくご確認ください。

各ファンドについて

- 各ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。そのため、各ファンドが投資対象とするマザーファンドを投資対象とする他のベビーファンドに追加設定・解約等があった場合、資金変動が起こり、その結果、当該マザーファンドにおいて売買等が生じた場合等には、各ファンドの基準価額に影響を及ぼす場合があります。
- 各ファンドは、マザーファンドへの投資を通じてベビーファンドにより運用を行うため、ベビーファンドへの資金流出入からマザーファンドでの組入ETFの売買執行までのタイミングにずれが生じること、売買時のコストや信託報酬等の費用を負担すること等により、各ファンドの基準価額に影響を及ぼす場合があります。
- 各ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。

各ファンドに係る費用について

- 申込時に直接ご負担頂く費用：購入時手数料 販売会社にお問い合わせ下さい。
- 換金時に直接ご負担頂く費用：信託財産留保額 上限 0.15%
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担頂く費用：運用管理費用（信託報酬）上限 年率 1.65%（税抜1.50%）
- その他の費用、手数料：上記以外に保有期間に応じてご負担頂く費用があります。これらは運用状況により変動するため、事前に料率、上限額等を表示することができません。

本資料や投資信託に関する注意事項

- 本資料は、商品の内容をご説明するために作成されたものであり、当該投資信託の勧誘を目的とするものではありません。
- 投資信託は、株式など値動きのある証券等（外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金および運用成果が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益は、購入者に帰属します。
- 本資料は、株式会社お金のデザインが信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。
- 投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡する最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認くださいのうえご自身でご判断ください。